



2022年5月13日

各位

会社名 株式会社リベルタ  
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 透  
 (コード番号 4935 東証スタンダード市場)  
 問合せ先 専務取締役 二田 俊作  
 (TEL. 03-5489-7661)

## 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月15日に公表した業績予想および1株当たり配当予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想について

(1) 2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,703	百万円 △ 4	百万円 △ 12	百万円 △ 8	円 銭 △ 2.94
今回修正予想 (B)	3,244	△ 6	△ 28	△ 40	△ 13.61
増減額 (B - A)	541	△ 1	△ 15	△ 31	
増減率 (%)	20.0	△ 136.4	△ 230.0	△ 463.9	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	2,405	91	98	57	19.84

(2) 2022年12月期通期連結業績予想の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 215	百万円 200	百万円 135	円 銭 45.80
今回修正予想 (B)	7,800	326	300	161	54.39
増減額 (B - A)	2,000	111	100	25	
増減率 (%)	34.5	51.6	50.0	19.0	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,029	251	266	200	68.37

## 2. 修正の理由

当社は、2022年3月24日付で開示いたしました「ファミリー・サービス・エイコー株式会社の株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2022年4月1日付でファミリー・サービス・エイコー株式会社の86.8%の株式を取得いたしました。

同社を連結子会社化したことに伴い、同社の2022年4月から12月(9か月間)の業績が加わったことにより、第2四半期累計期間業績予想に関しては、売上高は3,244百万円(前回発表予想比541百万円増)、営業利益は△6百万円(前回発表予想比1百万円減)、経常利益は△28百万円(前回発表予想比15百万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は△40百万円(前回発表予想比31百万円減)を見込み業績予想の修正をいたします。

また、2022年12月期通期連結業績予想に関しては、売上高は7,800百万円(前回発表予想比2,000百万円増)、営業利益は326百万円(前回発表予想比111百万円増)、経常利益はファミリー・サービス・エイコー株式会社の経常利益が加味されたことにより300百万円(前回発表予想比100百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は161百万円(前回発表予想比25百万円増)を見込み業績予想の修正をいたします。

主な修正理由については、以下のとおりです。

コスメ(その他)は、「つぶぼろん」や「QB」がドラッグストアでのプロモーション施策などにより順調に売上を伸ばすとともに、マスク着用下における口臭ケア商品として「デンティス」も好調に推移しております。また、シリーズ新商品「薬用美白ミルク」が販売好調となった「スリンキータッチ」も売上を伸ばしていることをふまえ、コスメ(その他)商品売上高は1,549百万円(前回発表予想比151百万円増)となる見込みであります。その他ジャンルは新取扱商品の販売好調を加味し、その他商品売上高は790百万円(前回発表予想比129百万円増)を見込んでおります。また、ファミリー・サービス・エイコー株式会社を子会社化したことにより、新規ジャンルである浄水器・医療機器商品売上高は1,101百万円、生活雑貨商品売上高は949百万円を見込んでおります。

一方、コスメ(ピーリングフットケア)については、米国での総代理店の在庫調整による影響などで、コスメ(ピーリングフットケア)商品売上高は1,556百万円(前回発表予想比46百万円減)を見込んでおります。トイレタリーについては、リニューアルを行った主力商品「カビトルネード Neo」の伸長ペースの鈍化傾向を鑑み、トイレタリー商品売上高は1,066百万円(前回発表予想比280百万円減)を見込んでおります。

なお、当社グループの2022年12月期通期連結累計期間の予想における新型コロナウイルス感染症拡大による影響については、依然として先行きが不透明な状況が続いておりますが、現時点において、当社の事業活動に重要な影響はないと判断し、算定しております。

### 3. 配当予想の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2022年2月15日発表)	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
今 回 修 正 予 想	—	18.00	18.00
前 期 実 績 (2021年12月期)	0.00	21.50	21.50

### 4. 配当予想修正の理由

当社は、株主資本利益率の向上に努め、配当性向を勘案しつつ安定的な配当の実施に努めるという考えのもと、長期に亘る安定的な経営基盤の確保をめざし、業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施することを基本方針としております。

上記方針に基づいた上、2022年12月期の業績見通し、財務状況等を総合的に勘案し、日頃の株主の皆様のご支援に報いるため、1株当たり15.00円とさせていただいておりました配当予想を1株当たり18.00円とさせていただきます。この結果、連結配当性向は33.1%となる予定です。

なお、この剰余金の配当は、2023年3月に開催予定の第27回定時株主総会に付議する予定です。

(注1) 連結配当性向＝配当支払総額／親会社株主に帰属する当期純利益

(注2) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上